

# 大会プログラム

## 初日

<b>自由集会 11月27日(木)17:30-19:30 / Free talk session 27 November (Thu) 17:30-19:30</b>			
2階 A会場 / 2F Room			
自由集会①	17:30-19:30	若手の将来を考える ー日本サンゴ礁学会若手の会ー	オーガナイザー: 中島 亮太・本田 葉月
2階 B会場 / 2F Room			
自由集会②	17:30-19:30	フィールドワークの活性化と安全確保の両立に向けて	オーガナイザー: 中井 達夫

## 2日目

<b>口頭発表 11月28日(金)9:00-12:30 / Oral presentation 28 November (Fri) 9:00-12:30</b>			
4F ホール / 4F Hall			
	9:00-	開会宣言	
<b>講演番号 No.</b>	<b>時間 Hour</b>	<b>発表題目 Title</b>	<b>発表者(所属) Authors (Affiliation)</b>
座長 (Chair): 磯村 尚子			
O1	9:00-9:15	Tough adults in high latitude and marginal areas – can tropical corals follow suit to survive range shifts and migration?	○Shashank Keshavmurthy・Nicholas Lee・Yanhong Teo・Chaolun Allen Chen (Academia Sinica, Taiwan)
O2	9:15-9:30	Diversity and Eco-physiology of temperate corals in Izu, Japan.	○Sylvain Agostini (Univ. Tsukuba)・Tomihiko Higuchi (Shizuoka Univ.)・Kirsty F. Smith (Univ. Tsukuba, Cawthron Inst., New Zealand)・Akiyuki Irikawa (Shizuoka Univ.)
O3	9:30-9:45	サンゴからの褐虫藻の放出: 研究まとめ	○小池 一彦 (広島大院・生物圏)・山下 洋 (水研セ・西海水研)・藤瀬 里紗 (広島大院・生物圏, Univ. Technol., Sydney)・松岡 友・由良 顕子 (広島大・生物生産)・鈴木 豪 (水研セ・西海水研)・林原 毅 (水研セ・国際水産資源研)
O4	9:45-10:00	ウスエダミドリイシとハナヤサイサンゴの幼生と成群体の呼吸速度とその温度依存性につ	Dwi Haryanti (琉球大院・理工)・日高 道雄 (琉球大・理)
<b>休憩 10:00-10:15 / Break 10:00-10:15</b>			
座長 (Chair): 山本 広美			
O5	10:15-10:30	蛍光性を用いた造礁サンゴ分布の船舶観測システムの開発	○篠野 雅彦・今里 元信 (海技研)・山野 博哉・小龍 宏之 (国立環境)
O6	10:30-10:45	サンゴポリモデルの拡張に基づくリーフスケール白化シミュレーション	○中村 隆志・瀧岡 和夫・山本 高大・渡邊 敦 (東工大院・情報理工)
O7	10:45-11:00	日本全国の造礁サンゴ種分布データベースの作成と種の保全上重要な海域の選定試行	○屋良 由美子・山野 博哉 (国立環境研)・本郷 宙軌 (琉球大・理・学振)・杉原 薫 (国立環境研)・須藤 健二 (北大)・田中 克彦 (東海大)・白山 善久 (JAMSTEC)
O8	11:00-11:15	温暖化に伴う藻場とサンゴ群集の分布推定モデリング	○熊谷 直喜 (国立環境研・生物セ)・高尾 信太郎 (北大院・地球環境)・屋良 由美子・山野 博哉 (国立環境研・生物セ)・藤井 賢彦・山中 康裕 (北大院・地球環境)
<b>休憩 11:15-11:30 / Break 11:15-11:30</b>			
座長 (Chair): 山下 洋			
O9	11:30-11:45	バイオミネラリゼーション研究におけるライブイメージング 手法の確立 ー大型有孔虫を例	○大野 良和・藤田 和彦 (琉球大院・理)・豊福 高志 (JAMSTEC)・中村 崇 (琉球大院・理)
O10	11:45-12:00	エンタクミドリイシの主要発現タンパク質解析の試み	○久保田 賢 (高知大・黒潮圏)・目崎 拓真 (黒潮研)・小西 裕子 (高知大・総合研究センター)・田口 尚弘・富永 明 (高知大・黒潮圏)
O11	12:00-12:15	造礁サンゴにおける硫酸イオンの取り込みと利用	○湯山 育子 (国立遺伝研)・樋口 富彦 (静岡大)
O12	12:15-12:30	キッカサンゴの分子細胞遺伝学的研究	○田口 尚弘・久保田 賢 (高知大・黒潮圏・海洋健康医学)・目崎 拓真 (黒潮研)・関田 諭子・奥田 一雄 (高知大・黒潮圏・生物構造機能)・富永 明 (高知大・黒潮圏・海洋健康医学)
<b>昼休み 12:30-13:00 / Lunch Break 12:30-13:00</b>			

<b>ポスター発表・サンゴ礁保全ポスター (奇数番号) 11月28日(金)13:00-14:00 / Poster presentation・NPO poster presentation (Odd number) 28 November (Fri) 13:00-14:00</b>			
2階 C会場 / 2F room			

<b>口頭発表 11月28日(金)14:30-18:00 / Oral presentation 28 November (Fri) 14:30-18:00</b>			
4F ホール / 4F Hall			
<b>講演番号 No.</b>	<b>時間 Hour</b>	<b>発表題目 Title</b>	<b>発表者(所属) Authors (Affiliation)</b>
座長 (Chair): 中村 隆志			
O13	14:30-14:45	酸性化に対するサンゴ応答の多様性	○栗原 晴子・高橋 麻美・村上 由香・Judith WOUTERS・安田 直子 (琉球大・理)
O14	14:45-15:00	石西礁湖周辺海域における海洋酸性化の現状と炭酸系動態	○渡邊 敦・中村 隆志・瀧岡 和夫 (東工大院・情報理工)・宮島 利宏 (東大・大気海洋研)・茅根 創 (東大院・地惑)
O15	15:00-15:15	Latitudinal variation on the effects of ocean warming and acidification on the early life stage of corals	○Maria Vanessa B. BARRIA・Haruko KURIHARA (Univ. Ryukyus)・Ronald VILLANUEVA (Univ. Philippines)・Atsushi WATANABE (Tokyo Inst. Technol.)・Toshihiro MIYAJIMA (Univ. Tokyo)・Maria Lourdes SAN DIEGO-MCGLONE (Univ. Philippines)・Saki HARII
O16	15:15-15:30	フロントダイナミクスによるサンゴポリ骨格形成: 顕微鏡観察・培養実験における海洋酸性効果	○市川 和彦 (北大院・地球環境)・服田 昌之 (お茶大院・自然科学)・諏訪 亮太 (海洋環境研究所 (新潟))
<b>休憩 15:30-15:45 / Break 15:30-15:45</b>			
座長 (Chair): 栗原 晴子			
O17	15:45-16:00	Coverage versus diversity in mesophotic coral ecosystems: considerations on the role of deep reefs in Okinawa	○Frederic Sinniger (JAMSTEC, Univ. Ryukyus)・Rian Prasetya・Saki Harii (Univ. Ryukyus)
O18	16:00-16:15	造礁サンゴ類の転生と底生無脊椎動物の増殖	○久保 弘文 (沖縄県水産海洋技術セ)・謝名 堂 聡 (沖縄県自然保護・緑化推進課)・比嘉 義規 (恩納村漁協)
O19	16:15-16:30	アミヒラギ群体上で大量繁殖するシアノバクテリアについて	○山城 秀之 (琉球大・熱生研・瀬底)・磯村 尚子 (沖縄高専・生物資源)・酒井 一彦 (琉球大・熱生研・瀬底)
O20	16:30-16:45	黒潮海域におけるサンゴ礁無脊椎動物の遺伝構造比較	○安田 仁奈 (宮崎大・TT)・井口 亮 (沖縄高専)・山川 英治 (沖縄環境科学セ)・岡地 賢 (コーラルクエスト)
<b>休憩 16:45-17:00 / Break 16:45-17:00</b>			
座長 (Chair): Keshavmurthy Shashank			
O21	17:00-17:15	Diversity of the sponge-parazoanthid association in the Indo-Pacific Ocean	○Javier A. Montenegro-Gonzalez (Univ. Ryukyus)・James D. Reimer (Univ. Ryukyus)
O22	17:15-17:30	Impact of depth on the reproductive biology of <i>Acropora</i>	○Rian Prasetya (Univ. Ryukyus)・Frederic Sinniger (JAMSTEC)・Saki Harii (Univ. Ryukyus)
O23	17:30-17:45	Warming and Acidifying Impacts on the Seagrass-Sea Urchin Trophic Interaction	○Vina LISTIAWATI (Univ. Ryukyus, Diponegoro Univ.)・Haruko KURIHARA (Univ. Ryukyus)
O24	17:45-18:00	Algal symbiont density and green fluorescence protein (GFP) of <i>Pocillopora damicornis</i> at early developmental stages	○Dwi Haryanti・Michio Hidaka (Univ. Ryukyus)

<b>自由集会 11月28日(金)18:30-20:30 / Free talk session 28 November (Fri) 18:30-20:30</b>			
2階 A会場 / 2F Room			
自由集会③	18:30-20:30	蛍光撮影技術を生かした海洋生物イメージングとモニタリング II	オーガナイザー: 古島 靖夫・丸山 正・篠野 雅彦・鈴木 貞男
2階 B会場 / 2F Room			
自由集会④	18:30-20:30	サンゴ礁保全行動計画画見直しに向けての提言書について	オーガナイザー: 中野 義勝
2階 D会場 / 2F Room			
自由集会⑤	18:30-20:30	サンゴ礁研究・温故知新: 80年前のパラオの若手研究者達	オーガナイザー: 佐藤 崇範

## 3日目

<b>口頭発表 11月29日(土)9:00-12:30 / Oral presentation 29 November (Sat) 9:00-12:30</b>			
4F ホール / 4F Hall			
<b>講演番号 No.</b>	<b>時間 Hour</b>	<b>発表題目 Title</b>	<b>発表者(所属) Authors (Affiliation)</b>
座長 (Chair): 井口 亮			
O25	9:00-9:15	サンゴと褐虫藻の初期共生 ~ 感染した褐虫藻によって変化する事しない事 ~	○山下 洋・鈴木 豪 (水研セ・西海水研)・新里 宙也 (OIST)・神保 永 (北里大・海洋)・小池 一彦 (広島大院・生物圏)
O26	9:15-9:30	ウスエダミドリイシレクチンActLの褐虫藻誘引能と稚ポリブでの役割	○竹内 亮太・吉武 美乃里・谷本 典加・神保 永 (北里大・海洋生命)
O27	9:30-9:45	造礁サンゴのストレスマーカーとしてのチオレドキシ	○岩谷 拓則 (琉球大院・理工)・湯山 育子 (国立遺伝研)・日高 道雄 (琉球大・理)
O28	9:45-10:00	ミドリイシの幼生に着生行動を誘発するバクテリアの単離	○服田 昌之 (お茶大・理・生物)・中村 良太 (水産土木センター)・西崎 孝之・渡邊 則仁 (水産庁)

**休憩 10:00-10:15 / Break 10:00-10:15**

座長 (Chair): 佐藤 崇範		
O29	10:15-10:30	サンゴ礁池のレジリアンスの低下と多様性の消失-構造の劣化に伴う「砂漠化」過程-
O30	10:30-10:45	「サンゴラーニング Eco Journey Program」沖縄MICEコンテンツトレードショー2014「日本政府観光局特別賞」受賞プログラム
O31	10:45-11:00	石西礁湖における着床具を用いたサンゴ礁再生について
O32	11:00-11:15	地域主体のサンゴ礁保全活動を促進するために必要なもの ~石垣島白保集落でのWWF持続可能な地域づくりプロジェクトの教訓~

**休憩 11:15-11:30 / Break 11:15-11:30**

座長 (Chair): 鈴木 倫太郎		
O33	11:30-11:45	琉球列島におけるデンドライトの発見
O34	11:45-12:00	日本におけるサンゴ・サンゴ礁についての研究の変遷:パラオ熱帯生物研究所の成果を中
O35	12:00-12:15	GISを用いたサンゴ生息状況及び生息環境条件の重ね合わせによる沖ノ島島のサンゴ移植適地検討
O36	12:15-12:30	石垣島・名蔵湾の沈水カルスト地形とサンゴ群集

**昼休み 12:30-13:00 / Lunch Break 12:30-13:00**

**ポスター発表・サンゴ礁保全ポスター発表 (偶数番号) 11月29日(土) 13:00-14:00 / Poster presentation・NPO poster presentation**

2階 C会場 / 2F room		
14:00-14:30 ポスター撤去		

**口頭発表 11月29日(土) 14:30-15:30 / Oral presentation 29 November (Sat) 14:30-15:30**

4F ホール / 4F Hall			
講演番号 No.	時間 Hour	発表題目 Title	発表者(所属) Authors (Affiliation)
座長 (Chair): 新里 宙也			
O37	14:30-14:45	有薬性イシサンゴ類の分類体系の大改編	○深見 裕伸(宮崎大・海洋)
O38	14:45-15:00	枝状ミドリイシの計測部位の検討	○山本 広美・永田 俊輔(沖縄美ら島財団)
O39	15:00-15:15	ミドリイシ属サンゴの雑種分化-雑種体の妊性からの検討-	○磯村 尚子(沖縄高専・生物資源)・岩尾 研二(阿嘉島臨海)・守田 昌哉(琉球大・熱生研)・深見 裕伸(宮崎大・農)
O40	15:15-15:30	南西諸島に生息するアザミサンゴのタイプ間・地域間遺伝的分化と繁殖特性	○中島 祐一(OIST・海洋生態物理学)・新里 宙也・座安 佑奈・佐藤 矩行(OIST・マリネジ/モックス)・御手洗 哲司(OIST・海洋生態物理)

**総会・受賞講演 11月29日(土) 15:45-17:45 / Plenary session & Prize lecture 29 November (Sat) 15:45-17:45**

4F ホール / 4F Hall		
------------------	--	--

**懇親会 11月29日(土) 18:00-20:00 / Banquet 29 November (Sat) 18:00-20:00**

2階 C会場 / 2F room		
------------------	--	--

**4日目**

**公開シンポジウム 11月30日(日) 9:30-12:00 / Symposium 30 November (Sun) 9:30-12:00**

高知会館 2F 白鳳/ Kochi Kaikan 2F Hakuhou	9:20-12:00	温帯における造礁サンゴ研究の意義と価値の創造
---	------------	------------------------